

令和6年度 海外派遣学生数

No	プログラム名称	プログラム目的・概要	成果	派遣国名	派遣期間	所属学部・研究科	人数	単位取得者数
1	交換留学（夏期派遣）	協定校の学部または大学院で、主に本学で専攻している分野に関連のある科目を受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	フランス イギリス フィンランド	令和6年8月 ～ 令和7年7月	人文学部、法学部、 商学部	8	令和7年度末に 単位認定見込み
2	交換留学（春期派遣）	協定校の学部または大学院で、主に本学で専攻している分野に関連のある科目を受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	韓国 中国 台湾	令和7年2月 ～ 令和8年1月	人文学部、商学部	11	令和7年度末に 単位認定見込み
3	海外語学研修 （セントラル・ランカシャー大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図り、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養うことができた。	イギリス	令和6年8月3日 ～ 令和6年8月26日	人文学部、経済学部、 スポーツ科学部	3	単位認定の プログラムではない
4	海外語学研修 （シアトル大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図り、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養うことができた。	アメリカ	令和6年8月20日 ～ 令和6年9月3日	人文学部、法学部、 商学部、工学部、 薬学部	19	単位認定の プログラムではない
5	海外語学研修 （ハノイ大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図り、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養うことができた。	ベトナム	令和6年8月19日 ～ 令和6年8月31日	人文学部、法学部、 経済学部、商学部第二 部、医学部（看護学 科）、薬学部	11	単位認定の プログラムではない
6	海外研修 （ウオッシュバン大学）	協定校での研修を中心に文化、歴史、自然、言語等の知識を修得させ、かつ、市民や学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	アメリカ	令和7年2月15日 ～ 令和7年3月15日	人文学部、法学部、 経済学部、商学部、 理学部、工学部、 薬学部、スポーツ科学部	17	令和6年度末に 単位認定見込み
7	海外研修 （グリフィス大学）	協定校での研修を中心に文化、歴史、自然、言語等の知識を修得させ、かつ、市民や学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	オーストラリア	令和7年2月15日 ～ 令和7年3月15日	人文学部、法学部、 経済学部、商学部、 工学部、薬学部	21	令和6年度末に 単位認定見込み
8	海外語学研修（Campus France） （グルノーブル大学附属語学学校）	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	フランス	令和7年2月28日 ～ 令和7年3月31日	人文学部	1	単位認定の プログラムではない
9	海外語学研修（Campus France） （サンティエニヌ大学附属語学学校）	会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を養成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	フランス	令和7年2月28日 ～ 令和7年3月31日	法学部	1	単位認定の プログラムではない
10	海外研修（蔚山大学校）	協定校へ学生を派遣し、初・中級レベルの韓国語学習を中心に、文化、歴史、自然などの知識を修得するとともに、市民や学生との交流を通じて国際感覚の養成を図ることを目的とする。	初・中・上級レベルの韓国語学習を中心に、文化、歴史、自然などの知識を修得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和6年8月3日 ～ 令和6年8月24日	人文学部、経済学部、 商学部、理学部、 工学部、薬学部	21	単位認定の プログラムではない
11	海外語学研修（揚州大学）	協定校へ学生を派遣し、会話力、文法、語彙等、総合的な語学力の向上を図るとともに、見学研修・文化研修を通じて伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を育成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	中国	令和7年2月23日 ～ 令和7年3月9日	人文学部、商学部、 理学部	9	単位認定の プログラムではない
12	海外語学研修（慶熙大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語の文法と会話を中心に語学力の向上を図るとともに、ソウル近郊で行われる現地学習で韓国文化を体験することを通して伝統、文化、歴史を学び、多角的視点から異文化を理解し得る国際感覚を育成することを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	韓国	令和7年3月5日 ～ 令和7年3月25日	人文学部、法学部、 商学部、商学部第二部、 工学部	16	単位認定の プログラムではない
13	INU Korean Culture Program （仁川大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語と韓国文化を中心に、学生との交流を通じて韓国文化を深く理解することを目的とする。	韓国文化の知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和6年8月5日 ～ 令和6年8月17日	人文学部	2	単位認定の プログラムではない
14	Summer Global Hanma Program （慶南大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語と様々な旅行やアクティビティを中心に、学生との交流を通じて国際感覚を育成することを目的とする。	韓国語学習を中心に、韓国文化の知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和6年8月4日 ～ 令和6年8月23日	人文学部、商学部	3	単位認定の プログラムではない
15	Korean Summer Session (KSS) （東亜大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国語と韓国文化体験を中心に知的探求を深め、学生との交流を通じて国際感覚を育成することを目的とする。	韓国語、韓国文化体験を通じて知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和6年8月4日 ～ 令和6年8月19日	薬学部	1	単位認定の プログラムではない
16	INTERNATIONAL SUMMER PROGRAM（釜慶大学校）	協定校へ学生を派遣し、韓国の文化に慣れることを中心に、釜慶大学校の学生や世界各国からの留学生とともに韓国をより深く理解することを目的とする。	韓国文化の知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和6年8月8日 ～ 令和6年8月22日	人文学部、商学部	2	単位認定の プログラムではない
17	九州大学・福岡大学対象 大学生韓国釜山訪問プログラム （東西大学校・釜慶大学校）	福岡－釜山の2都市友好協力関係を21世紀において安定的に発展・強化させていくことを目的とした釜山フォーラムに九州大学の学生とともに学生を派遣し、福岡・釜山相互の理解を促進するとともに、日韓海峡圏の価値を共創する人材を育成することを目的とする。	日韓海峡圏の価値に関する知識を習得し、福岡－釜山の2都市友好協力関係を発展・強化させるとともに、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	韓国	令和6年8月8日 ～ 令和6年8月13日	人文学部、法学部、 経済学部、工学部、 薬学部	5	単位認定の プログラムではない
18	大連理工大学 短期サマースクールプログラム （大連理工大学）	中日両国間の相互理解促進、大学生同士の交友を育むことを目的に、中国語の授業、学科別研修・交流、中国文化体験を行う。	中国語の授業、学科別研修、中国文化体験を通じて知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	中国	令和6年8月16日 ～ 令和6年8月23日	人文学部、経済学部	6	単位認定の プログラムではない
19	九州・沖縄大学生友好訪中団 （中華人民共和国駐福岡総領事館）	両国の大学生の相互交流と相互理解を深め、中国の生活文化に直接触れ、「新時代」の中国を体感することを目的とする。	交流、中国の生活文化を通して知識を習得し、交流を通じて国際感覚を養うことができた。	中国	令和6年9月2日 ～ 令和6年9月7日	人文学部	2	単位認定の プログラムではない

No	プログラム名称	プログラム目的・概要	成果	派遣国名	派遣期間	所属学部・研究科	人数	単位取得者数
20	交換留学（4月派遣）	協定校の学部や大学院で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	留学先の母語で授業を受講することで、参加した多くの学生が専門科目の知識を習得することができた。また、授業だけではなく日常生活の中でも現地の人々と留学先の母語でコミュニケーションを取る経験ができたことで、語学力が向上した。	ドイツ	令和6年4月 ～ 令和6年9月	文学部	1	1
21	交換留学（4月派遣）				令和6年4月 ～ 令和7年3月		1	令和6年度末に 単位認定見込み
22	交換留学（10月派遣）	協定校の学部や大学院で、本学で専攻している分野に関連のある科目を、留学先の母語で受講し、専門科目の知識習得を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	ドイツ	令和6年10月 ～ 令和7年3月		1	令和6年度末に 単位認定見込み
23					令和6年10月 ～ 令和7年9月		1	令和7年度に 単位認定見込み
24	ドイツ語圏現地研修	ドイツ語学科2年次生以上の選択科目であり、事前研修、現地研修（協定校での語学研修および文化体験）、事後研修（報告書作成）を受講することで国際感覚を醸成する。	令和6年度ドイツ語圏現地研修に参加した21名の学生たちは、約1カ月間の語学コースおよび課外活動をととして、ドイツ語能力の向上と異文化理解の深化に努めた。現地でのドイツ語中心の生活は、学生たちに事前学習を含めた学習成果の実感と自信を与えただけではなく、言語コミュニケーションの可能性や世界のアクチュアルな諸問題への関心も喚起し、研修後の事後学習および将来の継続的学習につながった。	ドイツ	令和6年8月5日 ～ 令和6年9月5日		21	令和6年度末に 単位認定見込み
25	国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ・Ⅱ 国際コミュニケーション海外研修	法律学科・経営法学科1年次生を対象とする「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ」「国際コミュニケーション・法政事情Ⅱ」「国際コミュニケーション海外研修」として実施。受入先であるシアトル大学において日米関係や米国の司法制度等の講義を受講するとともに、現地の公的機関や企業を訪問する。事前学習で準備した英語によるインタビューやプレゼンテーション、ディスカッションを行ったり、学生が二人ずつホームステイを体験することにより、アメリカの文化を学んだりといった学生自らが自分の知識と英語力をフルに活用して課題に取り組み実践的内容となっている。	参加学生は、アメリカの法制度や政治経済について、シアトル大学ロースクールで英語での講義を受けるとともに、企業や機関を訪問してインタビューを行った。インタビューで得られた情報と国内で準備した資料を組み合わせて、英語でプレゼンテーションとディスカッションを実施した。研修後のフォローアップとして、担当教員の指導の下、研修成果について各自・各班が振り返り、成果を定着させる重要な取組みとなる研修成果報告書を作成した。	アメリカ	令和6年8月6日 ～ 令和6年8月21日		18	令和6年度末に 単位認定見込み
26	アジア法セミナーⅠ （アジア太平洋法政事情）	法学部2年次生以上の専門科目「アジア法セミナーⅠ（アジア太平洋法政事情）」として実施。研修内容は、ビクトリア大学ウェリントンでの講義（現地の法政事情やマオリ族の問題等）、公的機関（裁判所や政府機関等）や企業を訪問し、英語でインタビュー、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。現地において、自身の判断力と英語力、事前学習で得た知識を実践的・総合的に活用することで、グローバル人材への強い動機付けを図り、日本の次世代リーダーを育成することを目指す。	（派遣期間終了後公表）	ニュージーランド	令和7年1月30日 ～ 令和7年2月14日	法学部	18	令和6年度末に 単位認定見込み
27	経済学ジョイントコースA	協定校・韓国ウルサン大学との相互交流授業の一環で本学の学生が相手校を訪問して講義の受講、バス見学、ディスカッションなどを行い、日韓の経済について理解を深めた。	実際に韓国を訪れてその経済状況に触れることは何よりの学習となった。英語でコミュニケーションを取り友好を深めることができた。	韓国	令和6年8月6日 ～ 令和6年8月9日	経済学部	41 （オンラインによる実施1人含む）	41
28	経済学ジョイントコースB	協定校・静宜大学との相互交流授業の一環で本学の学生が相手校を訪問して講義の受講、バス見学、ディスカッションなどを行い、日台経済の関係について理解を深めた。	実際に台湾を訪れてその経済状況に触れることは何よりの学習となった。英語でコミュニケーションを取り友好を深めることができた。	台湾	令和6年9月3日 ～ 令和6年9月6日		38	令和6年度末に 単位認定見込み
29	海外交流ゼミナール （オレゴン大学）	アメリカ・オレゴン大学において、英語の集中講義はもちろん、大学での学びに必要なペーパー作成方法やプレゼンテーションスキルをオレゴン大学の教授陣から英語で学ぶことで英語力を向上させること、同時に異文化共生を体感することを目的としている。	英語のリスニングやスピーキングのスキル向上はもちろんのこと、様々な文化が交わる米国での大学生活を経験したことにより、受講生全員の帰国後の大学生活や卒業後の取り組みに顕著な変化が見られた。特に、自らの意見を形成するために積極的に学ぶ姿勢や、ディスカッションにおいて異なる意見を尊重する態度、そして堂々としたプレゼンテーション能力の習得などが目覚ましい成果として挙げられ、今回の海外派遣の最大の成果であるといえる。また、英語のスキルを更に伸ばしたいという意欲も醸成され、継続的学習につながっている。	アメリカ	令和6年8月9日 ～ 令和6年8月25日	商学部	16	令和6年度末に 単位認定見込み
30	カーティン大学（西オーストラリア州）理工学部における福岡大学工学部「持続可能でカーボンニュートラルな社会の実現を目指すエンジニア」プログラム	協定校の学部で、持続可能性、カーボンニュートラル、エネルギー・トランジションについて学び、授業と交流を通して英語スキルを高めながらオーストラリアの文化を学ぶことを目的とする。	（派遣期間終了後公表）	オーストラリア	令和7年3月2日 ～ 令和7年3月14日	工学部	11	単位認定の プログラムではない
31	2024年度工学部海外研修 （元智大学校派遣）	2024年度工学部海外研修として訪問し、協定校学部の見学や学生交流を目的とする。	（派遣期間終了後公表）	台湾	令和7年2月19日 ～ 令和7年2月22日	工学部	5	単位認定の プログラムではない
32	学術交流（合同研究発表会） （3日間派遣）	協定校大学院との合同研究発表会を主とした学術交流を目的とする。	合同研究発表会の事前・事後には専攻内で細やかな指導が行われ、発表会では協定校との学術交流により学生の発表力向上に繋がった。	台湾	令和6年10月25日 ～ 令和6年10月27日	人文科学研究科	4	単位認定の プログラムではない
33	交換留学 （Traditional Chinese Medicine Program）（13日間派遣）	講義、実習、病院訪問を通して、伝統的な中医学と補完療法を学ぶ。	台湾に根付く文化や健康に対しての意識、アプローチを学ぶことができた。また、台湾の学生や他国の学校との交流も盛んに行われた。	台湾	令和6年8月12日 ～ 令和6年8月24日	スポーツ健康科学研究科	2	単位認定の プログラムではない
34	交換留学 （Traditional Chinese Medicine Program）（13日間派遣）	講義、実習、病院訪問を通して、伝統的な中医学と補完療法を学ぶ。	台湾に根付く文化や健康に対しての意識、アプローチを学ぶことができた。また、台湾の学生や他国の学校との交流も盛んに行われた。	台湾	令和6年8月12日 ～ 令和6年8月24日	スポーツ科学部	1	単位認定の プログラムではない

延べ派遣学生数

338

42